

＜学校経営方針の重点＞（学校関係者評価）

- 1 学力の向上      2 規範意識と社会性の向上      3 豊かな心と健康な体の育成      4 保護者・地域・七小との連携

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善策	学校関係者評価記入欄(コミュニティ・スクール委員記入欄)		学校の見解と今後の方向性
							評価	コメント	
学力の向上	基礎・基本を確実に身につけさせる指導の充実	主体的・対話的な深い学びを通して事業改善を進め、各教科等における資質・能力を着実に身に付けさせる。	基礎・基本の定着、* <u>課題解決力</u> の向上を目指し、授業改善と家庭学習の充実を目指す。また、特別支援教室では安心して学べるよう担任・コーディネーター・支援専門員・スクールカウンセラーによる生徒への共通理解を深める。	A	都の学力調査結果では、概ね70%の生徒が「授業がわかる」と答えている。授業のめあての理解はそれよりやや低い数値である。	学級閉鎖がなく通常授業が行えている。また、陽性・濃厚接触のため自宅にいる生徒はオンラインを活用して学んでいる。また、特別な支援を要する生徒への合理的配慮も進める。	A	学級閉鎖がなく、通常授業が行えたことは喜ばしい/学級閉鎖もなく、授業が行えたのは良かったと思う/コロナ関係で自宅待機の生徒も安心してオンライン授業が受けられて良かった/生徒一人一人に合った学習ができている/昨年までの私の基準であればAだが、これからの六中を創っていく中ではBとします。少人数クラスを活かした圧倒的な基礎・基本の定着力とその学校の力の外部アピールが大切になってきたと思います/落ち着いた雰囲気の中で授業が行われており、日頃からの先生方の御指導のおかげだと思います。都の学力調査で70%が授業が分かるとのことですが逆に言えば30%は分からない、ということで、この割合がもう少しよくなるとよいかと思います。また全国学力調査での六中生徒の平均値がどの程度に位置するか分かるか評価の参考になります/やる気で学び記憶する。〈記憶持続能力の充実でレベルアップ〉前回の授業見学で、「やって見て・言ってみせて・させてみる」ことを実施しており感銘しました。生徒に学業を育む意味を再認識させて頂く旨お願いします。	全国学力・学習状況調査(3年生)の結果では全国平均と比べ、正答率は6~7%低いものの数学のデータの活用、国語の書く問題、粒子を柱とする領域の問題は平均または10%以上の高得点を得ている。記述問題の解答率向上の取組が今後課題である。
			学習・図書館支援員による支援や学習教室(ステップアップ)の活用により学習意欲の向上や読書習慣の定着、図書館利用の向上を図る。また、文化的行事を通して課題解決力・実践力を育成する。	A	夏季休業中は2週間、定期テスト前は1週間学習教室を設け、生徒の学びを支援した。学校も生徒の学び方について十分把握できて効果が見られた。	学習教室ではワークの答えを写すだけでも学習の効果はあると考える。国の学力調査で家庭で1日2時間以上読書する生徒が0%という結果だった。今後も本の福袋等をはじめ読書推進活動を継続していく。	A	1日2時間も読書の時間がとれるというのは、大人でも(時間のたつぷりある)難しいと思います。学校では朝読書や、図書室を使った自由な時間(授業)は行われているのでしょうか。中央図書館、小曾木分館で六中生のPOPを拝見しました。とても上手でした。本を読んでいる生徒もいるということですよ。小曾木市民センターの「六中生おすすめ図書」のコーナーを利用しました。いい取り組みです/定期テスト前や夏休みに、それぞれの生徒レベルの学習指導を行って頂いて、とても感謝している/インターネットの普及で、本を読む「事から離れがちの現代。電子書籍もあるが、やはり図書室を利用し、本を沢山読んでもらいたい/夏季休業中や定期テストの前などに一定期間の学習教室を設け、学びの支援をしていることはとてもよい取組であり、個別支援を今後も続けていただけるとありがたいです。部活・宿題等もあり1日2時間も読書することが生徒の実態に合っているかどうかですが、月に〇冊など目標値をもたせたりしながら読書への推進をはかることが大切かと考えます。	全国学力・学習状況調査では全国平均に比べ、読書時間が1時間以上で2時間より少ない、又は30分以上と答えた本校の生徒の割合は7%以上高く、比較的生徒は読書に取り組んでいる。今後も朝読書や図書室の読書イベントを継続していきたい。

			一人一台の端末及び電子黒板等ICTの活用により*2個別最適な学習、協働的な学習の充実を図る。	A	教務部がオンライン実施の基準をつくり本校でも整備しつつある。	オンラインはある程度の効果はあるが、逆にオンラインがあるなら欠席してもよいという風潮をつくらないようにする。	A	オンラインの授業参観もよろしくお願ひ致します/授業参観の時、積極的に発言していたし楽しく学びを深めていると感じた。教室でみんなで学ぶことの喜びを大切にしてほしい/タブレットの活用が、年々上達していると思う/ICT活動についても、これからの六中を創っていく中ではBとします。少人数クラスを活かした圧倒的なICT実力の向上とその学校の力の外部アピールが大切になってきたと思います/理科では電子黒板をはじめ、ICTを活用した授業が展開されていましたが、通常の授業の中で、どのような活用がされているかが分かると評価がしやすいです。オンライン授業のマイナス面(風潮)をつくらない工夫をどうぞよろしくお願ひします。	英語では英語によるプレゼンを各自タブレットで録画し、発音等を自己評価しながら学習の改善に役立てたり、美術では動画作成し、音楽でも演奏や歌唱を録画して自己評価に活用したりしています。今後も一層の活用を図る予定でいます。
規範意識と社会性の向上	規範意識と社会性をはぐくむ指導の充実	基本的な生活習慣の確立を目指し、安全安心な学校生活を送りながら望ましい勤労観・職業観の育成を図る。 ※実践力…最後までやり抜く力、社会に参画する力、仲間と協働する力等	薬物乱用防止教室、SNSの使い方、自転車安全教室等の安全指導を通して、危機回避する能力、人間関係形成力の育成を図る。	A	自転車安全指導は青梅署が来校して指導に当たった。避難訓練は毎月実施している。	引き続き担任の指導や生活指導主任からの毎月や長期休業日前の安全指導により生徒の危機管理意識の向上を図る。	A	小中合同の薬物SNSのセーフティ教室を開催しても良いと思う(小5~中3あたりで)/8月の避難所開設での六中生の活躍は素晴らしかった/若年層の犯罪が増えてきている世の中。子供達が巻き込まれないように願ひたい/小中合同での総合避難訓練では中学生が中心となり、地域の方、小学生を積極的に導く姿が見られ、実践力をつけるよい機会になっていると感じた。SNSの使い方については、今後最も重要な指導となると思われるので期待します/法律や条例等に縛られておりますが、社会に出る事前準備の指導は人間形成に役立つと理解しております。	小中合同のセーフティ教室については七小と検討します。発達段階が異なる児童生徒を対象にした場合の工夫が必要と考えます。
			総合的な学習の時間での探究学習のまとめを発表させて課題解決力を身に付けさせる。	A	国学力調査では約7割の生徒が自ら課題を立てる活動ができています。	3月のポスターセッションによる総合発表に取り組む。発表が苦手な生徒への支援が課題である。	A	総合学習で学んだ事を今後役立ててほしい/1年生からのポスターセッションによる発表、英語のスピーチ発表など、人前で発表する能力を育むのは大切だと思う/六中だからこそできることを大切に、その教育力の外部アピールも強く願ひします/地域人材の活用について、CSの中で伺ったが、小中9年間の中で、さらに新たな人材を発掘し、児童・生徒の学習と関連付けていくかに期待したいです。	来年度、まちづくり、ホテル、防災をテーマに地域の講師の方による授業を全学年で予定しています。
			キャリアパスポートを活用して職場体験(中止)等の進路学習での学びをまとめたり、振り返りたりすることで実践力を身に付けさせる。	A	キャリアパスポートは自分の生き方について見通しや振り返りを記録して小中高校へ引き継ぐ。	今年度は、3年ぶりに2年生職場体験を実施できた。おそき保育園等6か所の地域事業所の協力を今後もお願ひしたい。	A	職場体験が復活されて良かったです/今年度は職場体験ができて良かったと思う/これからはより深く本人希望をかなえるような取組にコミュニティスクール委員会も含めて取り組む時代が変わったと思います/コロナ禍でできなかったことがかなり以前と同レベルまでできるようになってきたことは良かったです。職場体験ができたことは、中学生にとって貴重な機会になったことと思います。今後も引き続き、お願ひします。	個別最適な学習は各教科だけでなく行事などの特別活動でも必要と考えます。今後の課題として取り組む必要があります。
豊かな心	生徒一人一人が主体的に教育活動に参加できるような指導	道徳授業等の工夫・充実また豊かな心	支援委員会・スクリーニング・地域資源等を活用して不登校の防止や暫定的な対策を	A	今年度はいじめの認知は1件であり、早期に解決できた。引	いじめの定義について生徒・保護者に浸透しつつある。学校だよりをはじめ4月	A	いじめ対策について引き続きお願ひいたします。小中合同で考えていってほしい/少人数校だからこそ、一度いじめに合うと修復するのが難しいと思う。六中の先生方は生徒一人一人に対して、親身になって話を聞いてくださる。有難い/いじめは、どこでも起こりうるものとして捉え、その未然防止と、早	現在、七小と合同で児童会・生徒会がいじめの防止に向けて標語の作成

と健康な体の育成	導の充実	と健康な身体をはぐくむ教育活動を推進する。	行う。また、いじめアンケートの活用、いじめ対策委員会の定期的な開催によりいじめの早期発見・早期解決に努める。	き続き見守っていく。不登校生徒は現在0である。	の当初から担任だけでなく管理職からも保護者会等で説明する。	期発見・早期解決が大切だと思います。チーム六中として、そのような適切な対応をされていることは、保護者・地域にとってありがたいことだと考えます/将来を担う若者に、心身ともに重要であることの意義を御教授下さい。健全なる精神は、健全なる身体から宿るが基礎。	等に取り組んでいます。来年度も七小と連携して子供たちに考えさせていきます。		
			道徳教育・SOS教育・がん教育・生徒会活動・学級活動等を通して命の大切さに気付かせ、自尊感情を育む。また、これらの活動を通して「人間関係形成力」を身に付けさせる。	A	予定通りすべて実施できている。SOS教育は1年生が対象である。生徒会は年末にオンラインで市内中学校と町づくりをテーマに交流した。	来年度から性暴力防止に向けて「命の安全教育」に取り組む。また、昨年度からは夏季休業明けに「エルウィーク（生徒の良いところを見つけほめる）」に取り組んでいる。	A	「命の安全教育」はとても大切だと思うので期待しています。六中生は悪い所より、ほめる事が沢山あって嬉しい/自尊感情・自己肯定感については、小学校でやや課題が見られました。どのように育んでいくのか、小中で交流できるとさらによいかと思います。町づくり交流は、同世代のみならず、地域の方との交流もぜひ推進されるとより実践的になるかと思えます。	来年度の総合的な学習の時間の「まちづくり」講座では、教員と地域の講師の方に協働で指導案づくりに取り組んでもらい、ワークショップ形式で町の課題に取り組みます。
			生徒会活動・学級活動・行事実行委員会・体育行事・部活動を通して生徒が自ら主体的に活動して心を豊かにし、体を鍛えられるよう支援して「実践力」を身に付けさせる。	A	特に体育行事は企画担当教員が一手に業務を担うところがあり今後も組織的に取り組むことが課題である。	係分担に業務量の偏りが出てしまうところについてはあらためて分担の見直しをする。	A	生徒が担うべき役割の整理。教員が担うべき役割の整理。そして外部に依頼することの必要性を整理する/体育祭の前やマラソン大会の前の朝練習や放課後練習を自主的に行う姿勢にはいつも感心する/チームワーク力が素晴らしい/様々な活動を生徒に主体的に取り組ませるには、様々な工夫が必要であり、小規模校にとっては生徒のニーズに応えるための教員側の負担も大変なところだと感じる。地域・CSとの連携も今後は必要か考える。	コミュニティスクールの委員の方は地域とのパイプ役を、PTAは学校の教育活動の支援を、地域の専門家は生徒との交流というように役割分担を考えます。
保護者・地域・七小との連携	信頼関係の構築と連携	生徒は地域行事・七小との連合行事に参加して地域社会の一員としての自覚を深めるとともに、学校は地域との連携及び	避難所開設訓練への参加、青少協ホタルをふやしたい実行委員会との協働により地域社会の一員としての自覚を高め「実践力」を身に付けさせる。	B	地域の協力により多様な地域活動を展開できた。内容の充実に伴い学校の役割も再確認できた。	七小会場の訓練は、来年度、生徒主体の取組に向けての計画作成を依頼した。六中教員は例えば避難者の役割を担う等教員の参画意識も高めるよう努力したい。	B	先生方の協力には感謝申し上げます。災害時を想定した場合、先生方がその目にいらっしやることは無いと考えなければいけないと、私たち住民が認識を持たなければいけないと思う所です/避難所開設訓練では生徒達が率先して活動していたのもしく感じた/ホテルの取り組みは生徒達の声を大切に取組んでいきたい/地域活動も進んで参加でき、高齢者に声をかける姿も見受けられた。優しい気持ちを持つ生徒が多い/防災訓練などの取り組み、すばらしいと思います。ありがとうございます/三年ぶりの小中合同での地域総合防災訓練の実施は、とても良かった。課題もあるが、次年度以降に向けてよいステップになったと考えたい/急がず順次段階を踏んで、目標に到達できれば良いのではないかと思います。	避難所開設訓練は基本的に教員が学校にいないことを想定して生徒が主体的に行動できるような課題解決力と実践力の育成をめざしています。ご協力をよろしくお願ひします。
			コミュニティ・スクール学校運営協議会を通して学校の課題を地域と共有し、解決に向け	B	コミュニティ・スクール開始2年目であり、七小と歩調を	第2回は七小と合同で実施した。第3回で効果を検証する。来年度の総合で「ゲス	B	小中合同でのコミュニティ・スクール開催および学習会は有意義でした/長年愛着のあった制服が見られなくなるのは寂しいが、新しい制服で登校する子供達を見るのは楽しみです/例年と違い、学校評価の提出期限が短くて困った/コミュニティ・スクールとしての歩みがかっと早くあるべきと思いま	学校評価の提出期間が短く申し訳ありません。来年度改善いたします。

	小中一貫教育を推進する。	協働する（総合的な学習の時間の充実、標準服改定等）。		合わせて進めていく必要がある。	トティーチャーを導入して地域の課題も学校と共有する。		す/標準服改定は時期に合ったよいものだったと思います/CSについては、小中それぞれで活動しているが、今年度の研修会のように、合同での実施はよかった。メンバーも重なる方が多く、その負担減や小曾木地区の学校としての七小六中を総合的にとらえていく視野も必要だと考える。	また、評価書の文字も拡大してご用意します。来年度の11月の研修会と2月の最終回も合同とすることを考えています。できるだけ負担軽減を図ります。
		七小との連携し、小中合同音楽会・避難所開設訓練・小中合同教員研修会の充実を図り、小中連携を深める。また、七小のスクリーニングシートの取組を継続する。	B	今年度はすべて予定通り実施でき、評価を得られた。小中の温度差解消に向けて互いに歩み寄る必要がある。	来年度小中合同音楽会は六中が会場である。来賓の招待が課題である。七小のスクリーニングシートの取組は昨年度開始したので課題の共有が大切と考える。	B	小規模校ですので小中のPTAの在り方も合同で考え直す時期にきていると思う/年々生徒数が減ってきているので、小中合同行事が増えていくのではないかと特にPTA活動が大変だと思う/先生方は10年後の六中の姿をどう描いておられますか。私の卒業した北多摩高校は立川国際となり、今は公立の小中高一貫校にまで大変化をしている。おそきの学校(六中・七小)が、市民のあこがれの学校になっていくような方策を私は考えたいと思っています/小中それぞれに学校文化があり、それぞれによさがあると考えますが、今後もより一層連携し、9年間で小曾木の子供たちをどう見守り育てていくかを地域全体で考えていく必要がある。	今年度は七小と連携してPTA校外活動を中止にし、来年度は広報部を中止とします。今後も連携してPTA活動の見直しを進めたいと考えます。学校の学びは地域の良さを見直し、地域等の課題解決に向けて学びを生かして協働していくことがその目的の一つと考えます。総合的な学習の時間を中核として生徒のみならず教員の意識改革を進めることも大切と考えて取り組んでいきます。
<p>*1 課題解決力＝課題を設定し、解決する力/人間関係形成力＝協働したり、社会参画したりしてよりよい人間関係をつくる力/実践力＝体験・学びを社会に生かし、最後までやり抜く力</p> <p>*2 個別最適な学習＝個に応じた指導のことで、指導の個別化(支援が必要な子供により重点的な指導を行うこと)と学習の個性化(子供の興味・関心等に応じ、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供すること)の2つのこと。/協働的な学習＝探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働しながら、他者を価値ある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう必要な資質・能力を育成すること。</p>								

### 「評価」の仕方

4段階評価

A：目標達成、B：ある程度達成、C：もう少し、D：できなかった

○4段階評価 A：目標達成、B：ある程度達成、C：もう少し、D：できなかったを基準として、校内で教職員一人一人が学校を評価したものを集計した。上記の個人評価中のA～Dの割合をもとに次のように学校としての評価をまとめた。

A … 全体に対するA+Bの割合が90%以上かつ全体に対するAの割合が50%以上

B … 全体に対するA+Bの割合が70%以上

C … 全体に対するA+Bの割合が70%未満(全体に対するC+Dの割合が30%超)

D … 全体に対するA+Bの割合が50%未満かつ全体に対するDの割合が20%以上(全体に対するC+Dの割合が50%超かつ全体に対するDの割合が20%以上)

(ただし、全体に対するA+Bの割合が70%以上であっても、全体に対するDの割合が20%以上の時は、一段階評価を下げてCとする)